

平成24年12月28日
水産庁

水産物の市況について(平成24年12月及び平成25年1月)

—東京都中央卸売市場における平成24年12月(平成24年11月21日～12月20日集計)の市況と、
平成25年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成24年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は強含みに推移しました。

II 平成25年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、需要は弱いことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は、北部太平洋海域(犬吠埼沿岸、房総沿岸、三陸北部沿岸))

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は冷凍原料、製品ともに需要期を過ぎて、前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれるものの、需要は弱いことから卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域(金華山沖合、犬吠埼沿岸)、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域。)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格は強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼沿岸、九州西方海域、山陰沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は需要の最盛期を過ぎることから、赤身類、脂身類ともに前月と比べ減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	52	894	51	799	49	783
前年	48	915	44	851	44	840

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	418	55	87	94
さけ・ます(平均)	518	97	71	77
(ぎんざけ塩蔵品)	525	100	72	75
(あきさけ塩蔵品)	420	100	73	81
(ときさけ塩蔵品)	840	100	81	92
(べにざけ塩蔵品)	840	100	83	82
(さけ類冷凍品)	500	100	78	81
さば(生鮮品)	339	70	94	79
するめいか(平均)	393	93	103	106
(生鮮品)	372	89	98	97
(冷凍品)	433	100	112	131
あじ(生鮮品)	553	93	111	119
まぐろ(冷凍品)	952	101	58	64
(めばち冷凍品)	802	101	68	77
(きはだ冷凍品)	674	98	66	74
(くろまぐろ冷凍品)	3,935	100	102	111
(みなみまぐろ冷凍品)	1,698	78	69	75

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成19年～23年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、庄田

直通 03-3591-5612